

ナロフと筆者の考えを比べ、話し合いで深めるようにした。

各学年で児童の追求意欲を高める課題や思考を深める場の設定など指導過程の工夫を図り、取り組んだ。

4. 研究協議

学習課題や指導過程、思考を深める手立て、間接指導時の評価など複式授業の持つ課題について活発な話し合いが行われた。

参加者からは、各学級の授業に吟味した課題や「問い直しの場」の設定、ノートの活用など一貫した指導が生まれ、児童に自分達で学習を進めていく力がついているとの評価があった。また、児童に評価を示すことにより学習に向かう積極的な姿を育てられるのではとの意見も出された。

助言者からは、焦点化を図った授業の組み立てが大切であることや間接指導時の支援として、一人一人の学習状況を予測し、発展・補充の教材を用意したり、自分に合った方法を選択したりできるような準備をするなど更なる研究の充実と発展に向けて貴重な示唆がなされた。

第9分科会 蘭越町立昆布小学校



1. 研究主題

『自ら学習に取り組み、互いに学び合う児童の育成を目指して』～一人一人が意欲を持って学習に取り組む、よさを認め、お互いを高め合う学びの場のあり方～

2. 研究内容

4つの研究仮説と4つの研究内容①学習の意欲化を図る教材開発、単元構成の工夫②自ら学ぶ力を育てる学習過程の工夫③学び合う、交流の場のあり方(重点1)④共感的、継続的な支援・評価のあり方(重点2)を設定し、実践に取り組んだ。

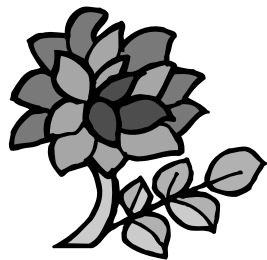
3. 公開授業

3年生は「かけ算の筆算」の3時間目、 23×3 の計算の仕方の学習で、20と3に分ける方法と $2 \times 3 = 6$ として60を求める方法の2通りが出され、交流段階でそれらの意味を確かめ、課題解決を図った。4年生は「角の大きさ」の5時間目、 180° より大きい角の測り方について考える学習で、いろいろな測り方を見つけ出し、工夫して測ることのよさに気付いた。両学年とも意欲的に学習に取り組んでいた。5年生は「平行四辺形と三角形」の4時間目、三角形の面積の求め方の学習で、ヒントカードを基にしながら変形すると面積が求められることに気づき、面積を導き出していた。6年生は「直方体と立方体」の1時間目、単元の導入場面で、9つの立方体について模型を使い、小グループごとに仲間分けをし、考えを発表し合った。両学年とも、先生の支援を受けながら粘り強く課題解決に取り組んでいた。

4. 研究協議

討議の柱を①複式における効果的な学習過程と教師の関わり②的確な見取りと支援・評価のあり方と設定した。自分の考えを画用紙に書かせ発表させる指導、ノート指導のあり方などについて質問が出された。さらに、複式の授業では間接指導の充実が不可欠であり、公開授業で見られた同時間接指導が有効であること、一人一人に自力解決が図られるような具体的な手立てが大切であることなど様々な意見が出された。

助言者からは、20の大きさを捉えさせるための具体物の提示の仕方を工夫するとよいこと、面積はその大きさを実感させること、交流は教科や学級活動など日常の活動と結びつけて指導することが大切であることなどの示唆があった。



参加者の声

【第1分科会 ニセコ町立近藤小学校】

- 子ども達の思考をつなぐための同時間接指導が充実していること、リーダーを中心に展開するガイド学習が確立していることなどを見て、わたり、ずらしにこだわっていた自分自身の考えが十分でないことを痛感しました。

【第2分科会 喜茂別町立鈴川小学校】

- 子ども達の明るく楽しい雰囲気が終りまで持続していた授業でした。変化のある反復授業が工夫されていて、とても参考になりました。(英語) 授業パターンがしっかりしていて、積極的に学習に参加する姿がよかったです。

【第3分科会 余市町立栄小学校】

- 学習リーダーがきちんと育っていて、単に話し合いを進めるだけでなく、前時の想起、まとめ、個人思考の時間まで進めていることに驚きました。一つ一つの質問が確かな作品分析に基づく教材研究の上に作られていることを感じます。研究の積み重ねが確実に子ども達に還元されていると感じました。

【第4分科会 神恵内村立神恵内小学校】

- 研究仮説にそい、自前のテストと評価の工夫が素晴らしく、一人ひとりのレディネスを見極め個性に会っていると思いました。課題を追求するための手立てがきちんと確立していました。これから自分達の資質を高めていこうという意欲が感じられる研究協議でした。

【第5分科会 積丹町立余別小学校】

- どの授業も一人ひとり個を大切にした授業でした。子ども達が生き生きと活動しており、活発に意見交流していて感心しました。疑問

を投げかけ合い、解決に向け協力し、論議する姿から、子どもの可能性を改めて実感しました。

【第6分科会 仁木町立銀山小学校】

- 細やかな支援と子ども達の学ぶ姿の質の高さに驚きました。日常の学級経営がしっかりしていることがわかります。縄跳び集会では生き生きとした顔、班で協力する姿、気合の入った声、素晴らしかったです。「心をひとつに」と目標をあげた班があり教育目標「共に生きる」の具体化につながっている活動と感じました。

【第7分科会 赤井川村立都小学校】

- 子ども達が相手意識、目的意識をしっかり持って、調べたことを伝え合っていたことに驚きました。これまでの積み上げですね。遠く離れた地域の子ども同士のやり取りがリアルタイムで進行され授業の活気を生んでいました。

【第8分科会 留寿都村立三ノ原小学校】

- 各学級で選択性学習過程や吟味された学習課題、ノートの活用など研究されている要素が取り入れられており、一貫した指導がされていることを感じ取りました。自分達で学習を進める力も発達段階に応じた成長を感じました。

【第9分科会 蘭越町立昆布小学校】

- 間接時の子ども達のルールがしっかり身についています。自力解決の時間が十分に保証され、子ども達も全力で集中して学習しており、発表も根拠があり自信のある様子でした。複式・少人数が生かされている学習でした。

【～アトラクション～】

- あの授業があつてこのアトラクションがあると感じました。子ども達の生き生きとした姿に感動しました。全体会も各校も迫力がありました。(必要がないというご意見もありました。)